

久留米交配

ハウス用

●越冬 ●半促成 ●雨よけ

プレスト

MTシリーズ

うどんこ病
褐斑病
べと病に強い

複合
耐病性



わたしたちは、考える種です。
株式会社 久留米原種育成会

種で届けるあした
久育種苗株式会社

- 1 >> 複合耐病性(うどんこ病、褐斑病、べと病)で後半までスタミナが持続
- 2 >> 枝の伸長と果実肥大のバランスがよく安定した収量
- 3 >> 収穫初期から長期にわたり抜群の果形



●雌花率 ※各節1~2果成

時期	5~6月定植	7~9月定植	2~3月定植
主枝	50~60%	40~50%	70~80%
子枝	80~90%	70~80%	90~100%

当社農場

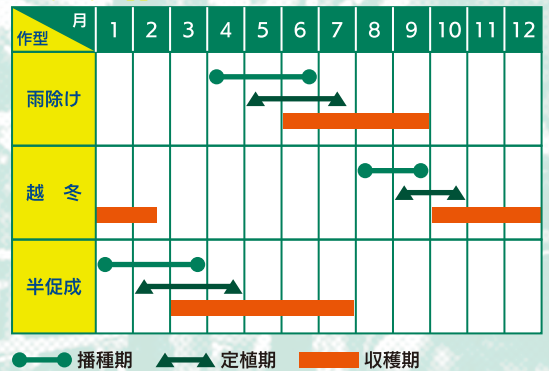
●草姿

項目	特性
主枝	ゆっくり伸長し、徒長しにくい
子枝	中~中太の枝が確実に発生
孫枝	節間は中、肥大しながら伸びる
葉	大きさは中位、濃緑色
茎	主枝・子枝は中太で、孫枝は中位である
草樹	全体的に枝の動きはゆっくりだが、徐々に強くなり後半までパテない

●収量

収量の山谷が少なく、長期にわたり安定しているため、秀品率も高く多収となる。

●適応作型



●果実

項目	特性
果形	整った円筒形であり、尻細果、尻太果の発生が少ない
果色	極濃緑で光沢があり、高温期・低温期でも退色しにくい
果長	100gで21~22cm
食味	肉厚で歯切れが良く、食味・食感ともに良好



●定植前

植穴は2~3日前に十分灌水しておき、しっかり根が張った苗を定植する。老化苗厳禁。

●定植~摘芯

定植後は、早期活着に努め、素直に生育させる。草勢を強めに管理し、スムーズな枝の発生を促す。草勢が弱い場合は、8節位まで雌花を摘果し、草勢の回復に努める。

●整枝

高温期~低温期に向かう場合は子枝1節で摘む。低温期~高温期に向かう場合は下段・上段1節摘みとし、中段は2節摘みとする。枝の動きを見ながら、伸びていく枝は摘芯し、ゆっくり動く枝は半放任していく。

●耐病性

うどんこ病、褐斑病、べと病に強い。

おすすめ台木 **昇竜・ビッグアイ**

YouTube 動画で「プレスト」をご紹介します!

きゅうりは久留米

検索



〈育成元〉



わたしたちは、考える種です。
株式会社 久留米原種育成会

<https://www.kurume-gensyu.co.jp>

●本社
〒830-0064 福岡県久留米市荒木町藤田1422-1
TEL 0942-26-2943 FAX 0942-26-3235

●宮崎支店
〒880-0211 宮崎県宮崎市佐土原町下田島19228-8

栽培サポート専用ダイヤル **0800-808-0840**

〈販売元〉

種で届けるあした

久育種苗株式会社

〒830-0064 福岡県久留米市荒木町藤田1413-2
TEL 0942-27-3038 FAX 0942-26-3235

ご注文専用FAX **0800-805-3628**